

令和7年度着手

とよおか しん い け
県 営 豊 丘 新 池 地 区 緊 急 防 災 等 工 事 計 画 書

(防 災 ダ ム 事 業)

愛 知 県

(目 次)

第 1 章	目 的	1	第 4 章	一 般 計 画	11
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1	第 1 節	事業計画の要旨	11
第 1 節	地 域	1	1. 要 旨		11
第 2 節	地 積	1	2. 事業別面積		11
第 3 章	現 況	2	第 2 節	営農計画及び土地利用計画	12
第 1 節	気 象	2	第 3 節	用 水 計 画	12
1. 一般気象		2	第 4 節	排水計画	12
2. 特殊気象		3	第 5 節	道路計画	12
第 2 節	土 地 状 況	4	第 6 節	農用地造成計画	12
1. 地形、土壌及び侵食の程度		4	第 7 節	洪水調整計画	12
2. 土地分類		4	第 8 節	干拓計画	12
3. 土地利用の状況		5	第 9 節	農用地整備計画	12
4. 土地所有の状況		5	第10節	老朽ため池改修計画	13
第 3 節	水 利 状 況	5	1. 洪水吐改修計画		13
1. 用水状況		5	2. 堤体補強計画		13
2. 排水状況		7	3. 取水施設改修計画		13
3. 河川状況		7	第 5 章	主要工事計画	14
第 4 節	道 路 概 況	7	第 1 節	用水施設	14
1. 道路概況		7	第 2 節	排水施設	14
2. 主要道路一覧表		7	第 3 節	道路及び索道	14
第 5 節	地域農業の概況	8	第 4 節	農用地造成	14
1. 産業別就業人口		8	第 5 節	洪水調整施設	14
2. 経営耕地広狭別農家経営体数		8	第 6 節	干 拓 施 設	14
3. 主要家畜頭数		8	第 7 節	農用地整備施設	14
4. 主要作物作付状況		8	第 8 節	老朽ため池改修施設	15
5. 農業の動向		9	1. 貯 水 池		15
第 6 節	地域環境の概況	10	2. 堤体補強施設		15

(目 次)

第 6 章	附 帯 工 事 計 画	16
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	16
第 8 章	環境との調和への配慮	16
第 1 節	配 慮 の 対 象	16
第 2 節	配慮の考え方	16
第 9 章	換地計画の概要	16
第 10 章	事業費の総額及び内訳	17
第 11 章	効 用	17
第 12 章	関 連 す る 事 業	18
第 13 章	現況・計画図面	18
1.	概 要 図	別添
2.	計画平面図	別添
3.	主要構造図	別添

第1章 目 的

本ため池は、知多郡美浜町南東部に位置する防災重点農業用ため池であり、流域面積11.7ha、かんがい受益面積5.5haと地域農業の重要な役割を担っている。本ため池は昭和52年度から昭和54年度にかけ、老朽ため池等整備事業により堤体・洪水吐・取水施設が改修されたが、それ以降改修工事を行われておらず、また現存する資料も乏しい。そこで、本ため池の現況堤体の耐震点検を実施した結果、耐震性能が不足していることが判明し、また洪水吐の流下能力不足、および取水施設の緊急放流能力不足が確認された。よって、本事業において、早急に堤体の地震対策、洪水吐の豪雨対策、緊急放流施設の設置により、ため池が決壊した場合の農地、農業用施設、住宅及び公共施設等への被害を未然に防止し、農業経営の安定を図るとともに国土の保全に資することを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
防災ダム事業	知多郡美浜町地内

第2節 地積

令和 7 年 2 月現在

(第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備 考
	市町村名	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
防災ダム事業	知多郡美浜町	5.5	-	-	-	-	5.5	美浜町「農業用ため池ハザードマップ」より、地図(都市計画基本図 1/2, 500)の図上計測面積
合 計		5.5	-	-	-	-	5.5	-

第3章 現 況

第1節 気象

1. 一般気象

(第3表－1)

観測所名	南知多観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	昭和51年～令和5年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(℃)		23.3	10.1	15.6	
降水量	平均(mm)	897.6	637.7	1,535.3	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(mm)	52	53	105	
	基準年(mm)	—	—	—	
根雪期間		—月—日～—月—日(—日間)			
無霜期間		—月—日～—月—日(—日間)			
最多風向		NW	最大風速 (風向)	23.1 m/s (ENE)	最大風速発生年月日 H30年7月29日

観測期間は昭和51年からであるが、統計期間は平成3年度から令和2年度の30年間とする。

2. 特殊気象

(第3表－2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
南知多観測所																
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
昭和51 年～ 令和6 年																
最大日雨量 (mm)	374.0	S51. 9. 12	1/198	282.0	H12. 9. 11	1/44	271.5	R5. 6. 2	1/37	268.0	H3. 9. 19	1/34	223.0	H13. 9. 10	1/15	
最大時間雨量 (mm)	90.0	S51. 9. 12	1/163	72.0	H16. 11. 1	1/31	71.0	H11. 6. 30	1/28	69.5	H21. 8. 9	1/25	66.0	H16. 10. 31	1/8	
最大4時間雨量 (mm)	194.0	H11. 6. 29	1/151	181.0	S51. 9. 12	1/94	173.0	H3. 9. 19	1/70	120.0	H12. 9. 11	1/10	118.0	H16. 10. 31	1/9	
最大連続雨量 (mm)	609.0	S51. 9. 7 ～ S51. 9. 14	1/212	444.5	H29. 10. 13 ～ H29. 10. 25	1/36	403.0	H2. 9. 13 ～ H2. 9. 20	1/23	341.0	H12. 9. 10 ～ H12. 9. 13	1/11	321.0	H3. 9. 16 ～ H3. 9. 19	1/9	
最大連続 干天日数(mm)	40	S61. 1. 5 ～ S61. 2. 13	1/24	40	H22. 12. 31 ～ H23. 2. 8	1/24	39	H9. 10. 5 ～ H9. 11. 12	1/21	38	H7. 7. 23 ～ H7. 8. 29	1/18	38	H23. 12. 9 ～ H24. 1. 15	1/18	

出典：公益財団法人愛知・豊川用水振興協会 23. 4. 4 愛知県内の気象データ。

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

令和 7 年 2 月現在 (第4表-1-1)

事業名	地 目	田 (ha)						畑・その他 (ha)								受益地標高(m)		備考
	傾 斜 区 分	1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
		以下	～ 1/100	～ 1/20	～ 1/11.5	～ 以上				8° ～ 10°	10° ～ 15°	小計						
防 事 災 業 ダ ム	面積 (ha)	-	5.5	-	-	-	5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	23.5	21.5	—
	比率 (%)	-	100%	-	-	-	100%	-	-	-	-	-	-	-	-			
合 計	面積 (ha)	-	5.5	-	-	-	5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	—	—	—
	比率 (%)	-	100%	-	-	-	100%	-	-	-	-	-	-	-	-			

※『都市計画基本図』図測による

(第4表-1-2)

土 壌 統 （ 区 ） 名	項 目	土 壌 統（区）区分一覧表									面 積（ha）			備 考	
		土 壌 断 面							堆 積 様 式	母 材	事業名				
		色	腐 植	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性					泥岩層 黒泥層 及びグライ層	防 災 ダ ム 事 業			計
						表土	下層土								
							一層	二層							
米津統	灰～青灰	含む	なし	なし	粘質	粘質	粘質	グライ土層	水積	非固結 水成岩	5.5		5.5	水田	

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

令和 7 年 2 月現在

(第4表－3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						原野 (ha)	山林 (ha)	採草放牧 地 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	のそ 地樹の 園他 (ha)						
防災ダム事業	美浜町	5.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5	
合 計		5.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5	

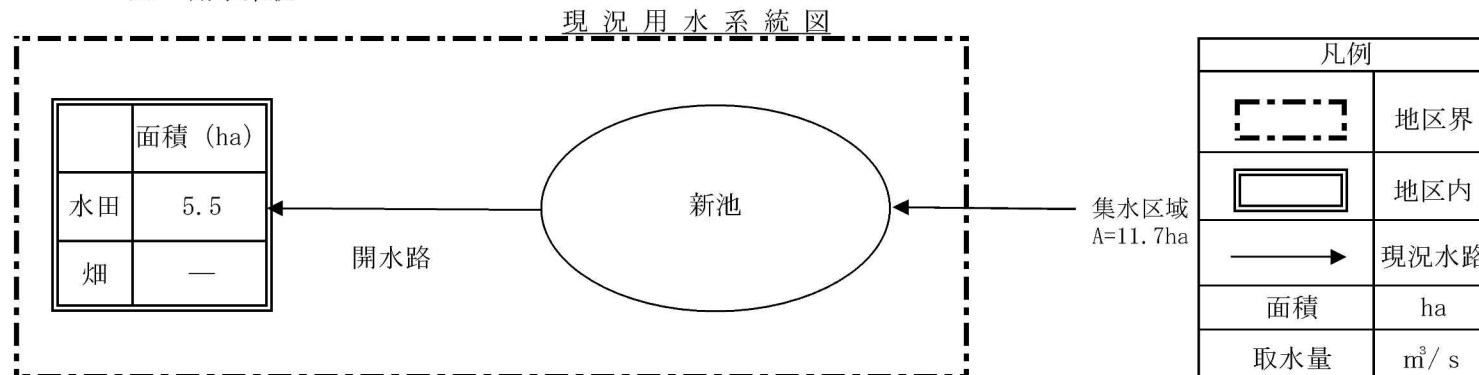
4. 土地所有の状況
省略

第3節 水利状況

1. 用水状況

新池の貯水は、自流域からの流入(雨水)のみである。また、受益地には、開水路により接続して用水供給がされている。

(1) 用水系統



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		慣行水利権		延べ取水量		備考	
		500ha以上		500ha～100ha		100ha未満											
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s		
防災ダム事業	貯水池	-	-	-	-	1	5.5	1	5.5	-	-	-	-	-	-		
	井 堰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	計	-	-	-	-	1	5.5	1	5.5	-	-	-	-	-	-	-	
合計		-	-	-	-	1	5.5	1	5.5	-	-	-	-	-	-	-	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備 考
防災ダム事業	貯水池	1	5.5	アースダム (土堰堤)	堤高 12.24m 堤長 95.0m 堤体積 19,000m ³ 貯水量 61,528m ³	昭和 52年～54年	堤体の耐震不足、洪水吐の 能力不足、取水施設の緊急 放流能力不足	
	井堰	-	-	-	-	-	-	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	
	用水路	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	
	計	1	5.5	-	-	-	-	
合計		1	5.5	-	-	-	-	

- (3) 用水に関する被害状況
 (ア) 用水不足による被害状況

該当なし

- (イ) その他の被害状況

該当なし

- (4) ため池決壊の場合の想定被害状況 (第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
防災ダム事業	9.4	0.8	17.0	27.2	4,857	49,370	16,248	8,181	1,928,530	2,007,186	—
合計	9.4	0.8	17.0	27.2	4,857	49,370	16,248	8,181	1,928,530	2,007,186	—

2. 排水状況

該当なし

3. 河川状況

該当なし

第4節 道路概況

1. 道路概況

本地区の道路は、北東部に一般国道247号、北西部に南知多道路が位置しており、これらの幹線道路を中心に、受益地内に整備された市道及び農道が農作物の輸送道路及び日常の生活道路として兼用されている。

2. 主要道路一覧表

該当なし

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口
省略

2. 経営耕地広狭別農業経営体数
省略

3. 主要家畜頭数
省略

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

町名	美浜町	作 付 割 合 (%)	備 考
総耕地面積 (ha)	357		
区 分	作付面積 (ha)		
作物名			
水 稻	245	71.9	2020年農林業センサス 作付面積は、経営耕地面積のうち販売目的作付け（栽培）した作物の類別作付（栽培）面積である。 「-」は、事実のないもの。 「X」は、秘密保護上、統計数値が公表されていないもの。
麦 類	0	0.0	
雑 穀	-	-	
いも類	1	0.3	
豆 類	1	0.3	
工芸農作物	X	X	
野菜類	39	11.4	
果樹類	52	15.2	
花き類・花木	X	X	
その他作物	3	0.9	
計	341	100.0	

出典：2020年農林業センサス

注1. 「-」は、事実のないもの。

注2. 「X」は、秘密保護上等数値が公表されていないもの。

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農業経営体			土 地			主要作物			主要家畜			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	89	71	耕地	94	80	水稻	X	86	乳用牛	70	34	農業振興地域指定 美浜町 昭和46年指定 野菜指定産地 昭和41年指定 冬キャベツ たまねぎ 果樹産地構造改革計画 かんきつ 平成29年策定(愛知県 あいち知多かんきつ推 進協会)	A: 令和2年(2020年) B: 平成27年(2015年) C: 平成22年(2010年) 「-」は、事実のないもの。 「X」は、統計数値が公表されていないために指数を求められないもの。
	個人経営体数	89	71	田	95	84	麦 (小麦)	-	-	肉用牛	X	X		
	団体経営体 (法人)数	100	70	畑	103	89	豆類	150	X	豚	59	X		
	団体経営体 (非法人)数	-	-	樹園地	83	56	野菜類	X	107	採卵鶏	X	188		
変化の理由	農業経営体の減少は高齢化の進行及び後継者の不足による。また、本地域には団体経営体(非法人)はいない。			住宅等への転用により、耕地、田、畑、樹園地で減少傾向にある。			水稻については、経営体の減少により、減少している。また、野菜類については、野菜を中心とした大規模な農業が取組まれているため、増加傾向にある。			乳用牛については、酪農農家の減少により、減少傾向にある。採卵鶏については、鶏卵の価格の安定を背景に全国的に採卵鶏の飼育羽数が増加傾向にあり、美浜町内でも増加している。				

出典：2010年世界農林業センサス、2015年農林業センサス、2020年農林業センサス

注1. 「-」は、事実のないもの。

注2. 「X」は、統計数値が公表されていないために指数を求められないもの。

第6節 地域環境の概況

本地域は伊勢湾と三河湾に囲まれた知多半島の南部に位置し、農漁業と観光業で発展してきた地域である。東西両岸沿いに市街地があり、海水浴やノリ養殖が盛んである。町中央は丘陵地で、みかん園や山林地帯となっており、山林地帯の谷間には水田等農用地が開けている。

本ため池周辺は、美浜町田園環境整備マスタープラン（平成15年）によると、生態系の保全に配慮する環境創造区域及び環境配慮区域に位置付けられてはいないが、既存の緑区域として設定されている。

1. 特に配慮すべき生物環境

（ア） 植物

美浜町の植生は、人工林が主であり天然林はほとんど見られない。また、丘陵間ではアカマツ、ハンノキ、ヤシャブシ、コナラ、ツツジ等の低木林が見られる。

（イ） 動物

美浜町内には国の天然記念物に指定されている「鵜の山、鵜の池」があり、約10万m²の松林にカワウが10,000羽以上生息している。また、最近はやぎなども多く飛来し鳥たちの楽園となっている。

爬虫類では、僅かだが自然の美しい浜が残されており、アカウミガメの貴重な産卵場所になっている。

魚類では、河川やため池、用水路にメダカ、カワムツ、フナ、マドジョウ、ウナギなどが生息している。

昆虫類では、町内にため池や山などの自然が残っており、トンボやホタルなどが生息している。

2. 特に配慮すべき生物以外のもの（景観・文化財他）

美浜町は、伊勢湾と三河湾に囲まれており、小野浦・野間などの美しい海岸と上野間漁港などの美しい港湾風景に恵まれ、海の風景、更には田園風景が調和した美しい景観を創り出している。伊勢湾側の海岸一帯が三河湾国定公園に、その他多くの地域が南知多県立自然公園に指定されており、豊かな自然や歴史的文化遺産、観光施設に恵まれている。

文化財としては、鵜の山鵜繁殖地が国の天然記念物に、ホルトノキ（阿奈志神社）が県の天然記念物に、大御堂寺客殿が県の指定建物に、大御堂寺境内が県の指定史跡に指定されている。

景観 ： 「鵜の山」鵜繁殖地、野間灯台

その他 ： 大御堂寺(県指定文化遺産)、知多美浜ふるさとシンボルパーク、海水浴、潮干狩り

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区は、東海地震の地震防災対策強化地域及び南海トラフ地震防災対策推進地域に位置し、新池が地震により決壊した場合は、下流の農地、農業用施設、住宅及び公共施設等に洪水被害が生じる。新池の耐震診断の結果、堤体の耐震性不足が確認された。また、洪水吐において流下能力が不足しており、取水施設においては緊急放流能力を有していない。このため、本事業において堤体、洪水吐、および取水施設を改修し、ため池決壊による洪水被害を未然に防止する。

項目		事業を必要とする理由	改修補強計画	備考
取 水 施 設	底樋	耐震性が不足しているため。	耐震性を備えた底樋に改修する。	
	緊急放流工	地震発生直後に緊急放流する施設が未整備のため。	緊急放流施設を既存斜樋に併設する。	
洪 水 吐		計画洪水量に対する流下能力不足のため。	計画洪水量を安全に流下させるよう洪水吐を改修する。	
堤体または基礎からの漏水状況		-	-	
堤 体		耐震性が不足しているため。	堤体下流側に押え盛土＋地盤改良工を行い、堤体の耐震性を確保する。	左記に加え、積ブロック工を併用する。
その他		・昭和52～54年度に、ため池等整備事業にて取水施設・洪水吐・堤体を改修済み。		

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用 区 分 事業 目 的	防災ダム事業					そ の 他					計 (ha)	
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	小計	水田	普通畑	牧草地	果樹園	小計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
耐震対策	5.5	-	-	-	5.5	-	-	-	-	-	5.5	
計	5.5	-	-	-	5.5	-	-	-	-	-	5.5	

第2節 営農計画及び土地利用計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量 観測所：南知多観測所

日雨量…374.5mm/日 時間雨量…92.2mm/h(「岩井法」による「生起確率」計算、確率年：200年)

(2) 計画洪水量： $Q_d = 3.61 \text{ (m}^3/\text{s)}$

正面越流型 越流部 B3500×H2600

暗渠部 B2000×H2300

急流部 B2000×H1300

減勢工部 B2000×H2000

2. 堤体補強計画

堤体下流側の耐震性を確保する。

堤体下流側：押え盛土工＋地盤改良工、積ブロック工を併用

3. 取水施設改修計画（緊急放流施設）

底樋管を耐震性、維持管理性を備えた施設に改修。緊急放流施設を斜樋の隣に併設する。

斜樋 $\phi 300 \times 1$ 取水孔 $\phi 100 \times 5$ 連(ゲート式取水孔)

底樋 $\phi 800$ (プレキャスト製品)

緊急放流施設 斜樋形式 $\phi 400 \times 1$ 連

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設
該当なし

第2節 排水施設
該当なし

第3節 道路及び索道
該当なし

第4節 農用地造成
該当なし

第5節 洪水調整施設
該当なし

第6節 干拓施設
該当なし

第7節 農用地整備施設
該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称	新池			位置	知多郡美浜町				
堤体	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考	
	均一型	0.117	12.24	95.0	19.0	4.6	62	地震対策工を施工	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式		取水量 (m ³ /s)	備考
	正面越流型 鉄筋コンクリート造	3.61	流入部 水路幅＝3.50 水路壁高＝2.60	減勢工新設		斜樋：ため池栓 1孔×5連 φ100 取水管 φ300 底樋：φ400		0.1	ため池台帳より
					緊急放流施設	型式		緊急放流量 (m ³ /s)	備考
						放流孔：400mm×1連 導水管：φ800		0.41	新設

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

堤体上流側の張ブロックを復旧する。

(2) 漏水防止工

堤体下流側に法先ドレーンを設け、速やかな排水を促す。

第6章 附帯工事計画

用地買収及び補償費

(1) 用地買収

該当なし

(2) 補償費

借地・・・2300m²(地目：畑)

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期

着手

令和 7 年度

完了予定

令和 11 年度（予定）

2. 工事の年度割予定

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
測量・調査・設計等					
用地買収・補償					
堤体工					
取水施設工					
緊急放流施設工					
洪水吐工					

第8章 環境との調和への配慮

第1節 配慮の対象

本地区は、知多半島の知多郡美浜町に位置し、ため池周辺は自然公園地域と保有林に囲まれ、水と緑のネットワークを形成している。また、田園環境整備マスタープラン(平成15年度版)において、既存の緑区域に指定されており、豊かな自然環境を残した地域といえる。

ため池に生息する魚類(旧トウヨシノボリ類)を保全する。また、本地区は重要種のトノサマガエル、オオタニシ、マシジミを確認しているため、それらの生物に配慮した対策を行う。

第2節 配慮の考え方

水生生物・池周辺への生態系への配慮：落水時、池の一部に水域を確保する。また、低騒音・低振動の施工機械を使用する。

周辺の環境への配慮：工事中に生じる土砂・濁水の流出防止のため、下流側水路に沈砂池を設置する。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区 分	事業名	防災ダム事業	備考
		(千円)	
	事業費 ※1	471,000	—
	事務的経費 ※2	29,200	—
	計	500,200	—
(関連参考事業)	—	—	—
	—	—	—

(令和6年度単価。消費税については10%で算定。ただし、物価変動により将来変動することがある。)

※1…事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2…事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項 目 区 分		年総効果(便益)額	年総増加農業所得額	備考
			(千円)	(千円)	
防災ダム事業	維持管理費節減効果		△ 37	—	
	災害防止効果	農業資産	3,074	—	
		一般資産	83,964	—	
		公共資産	356	—	
	計		87,357	—	総便益額 1,420,979 千円

<参考>

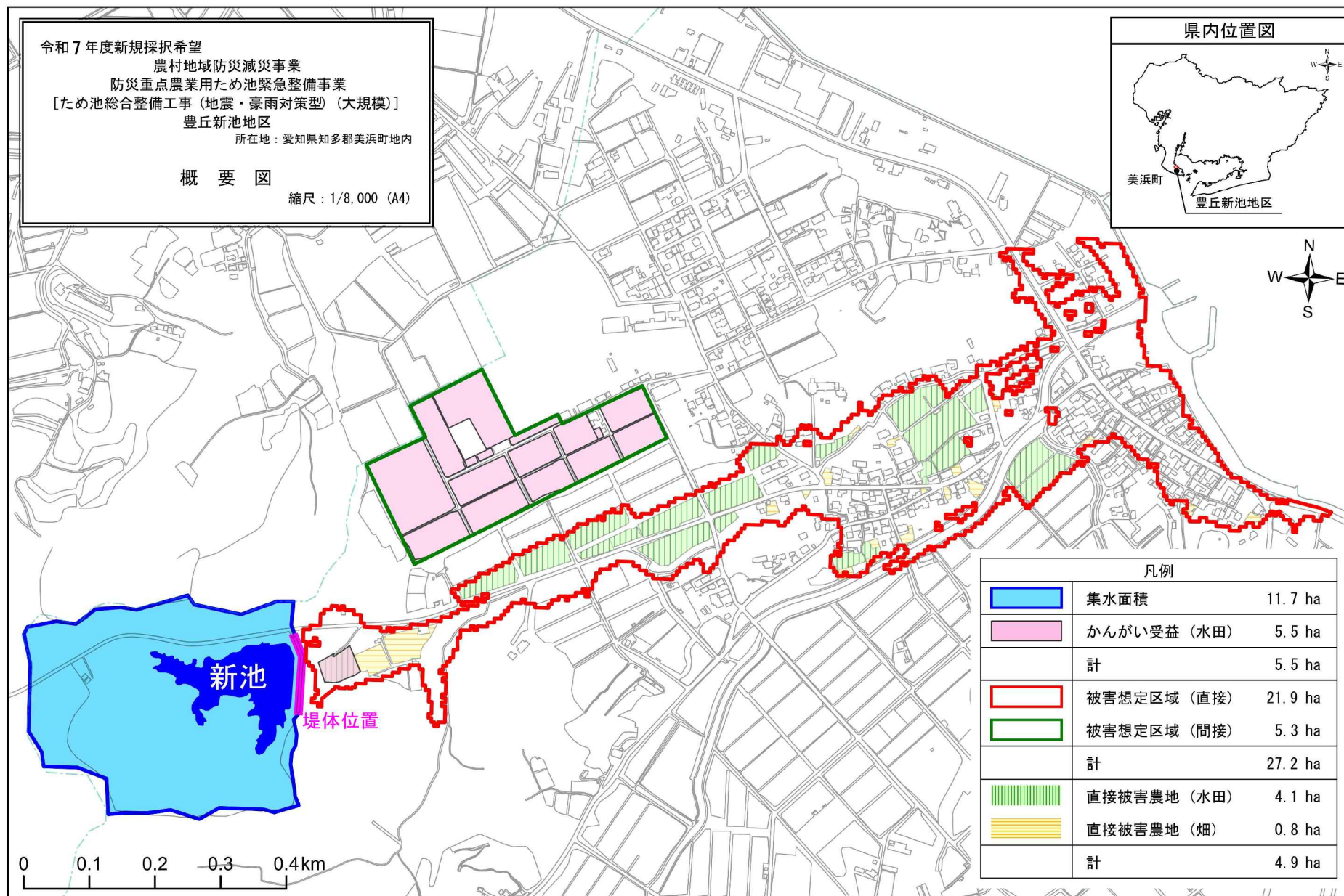
① 当該事業費	:	400,722 千円	⑦ 年総増加農業所得額	:	— 千円
② その他費用	:	13,759 千円	⑧ 総便益額	:	1,420,979 千円
③ 総費用	:	414,481 千円	評価期間	:	45 年
④ 年償還額	:	— 千円	割引率	:	0.04
④' うち機能向上分	:	— 千円	⑨ 総費用総便益比 (⑧÷③)	:	3.42 ≥ 1.0
⑤ 年総効果(便益)額	:	87,357 千円	⑩ 総所得償還率 (④÷⑥)	:	— % ≤ 20 %
⑥ 現況年総農業所得額	:	3,044 千円	⑪ 増加所得償還率 (④' ÷ ⑦)	:	— % ≤ 40 %

第12章 関連する事業

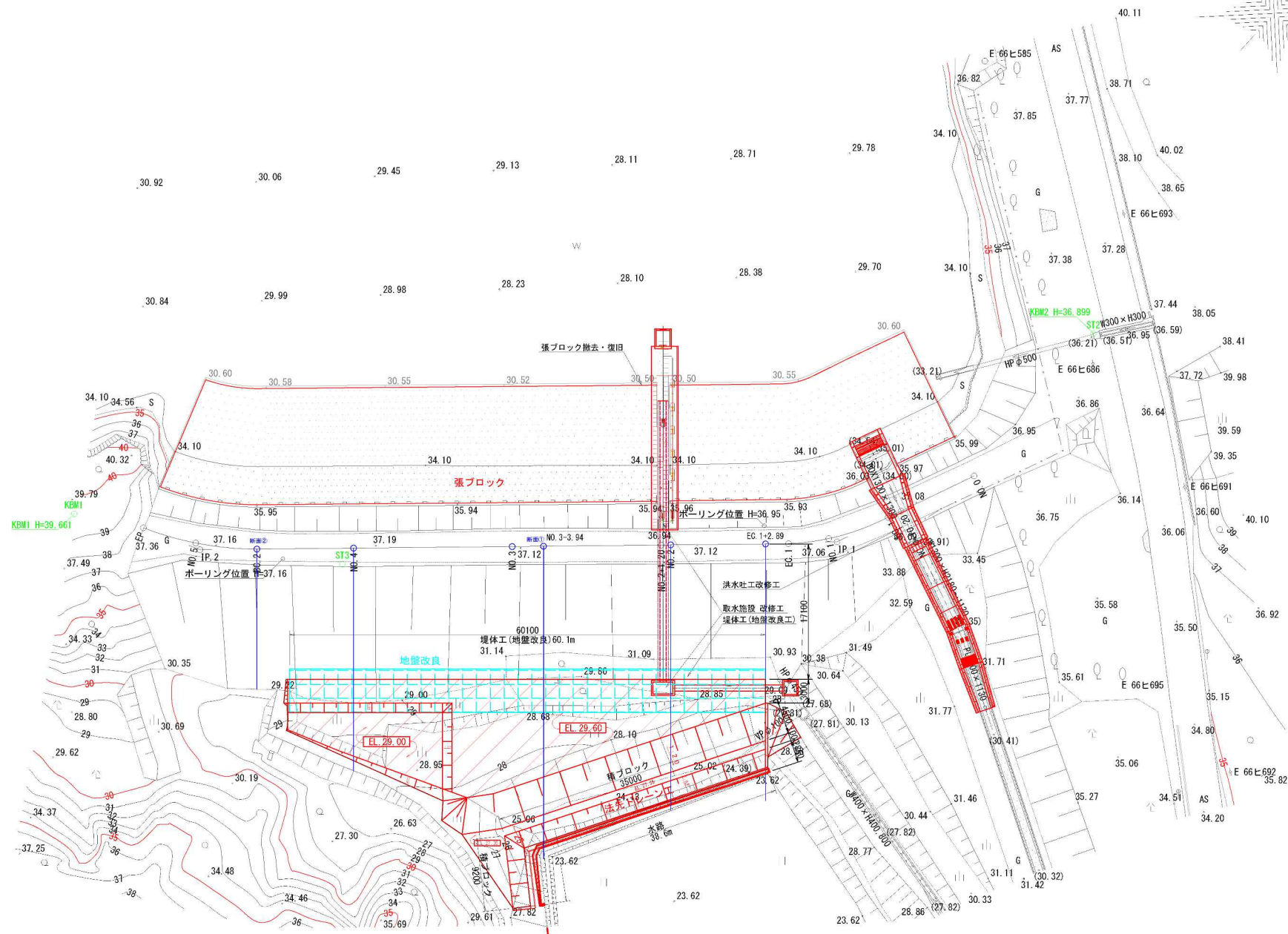
該当なし

第13章 現況・計画図面

- | | | |
|---|-------|------|
| 1 | 概要図 | 別途添付 |
| 2 | 計画平面図 | 別途添付 |
| 3 | 主要構造図 | 別途添付 |



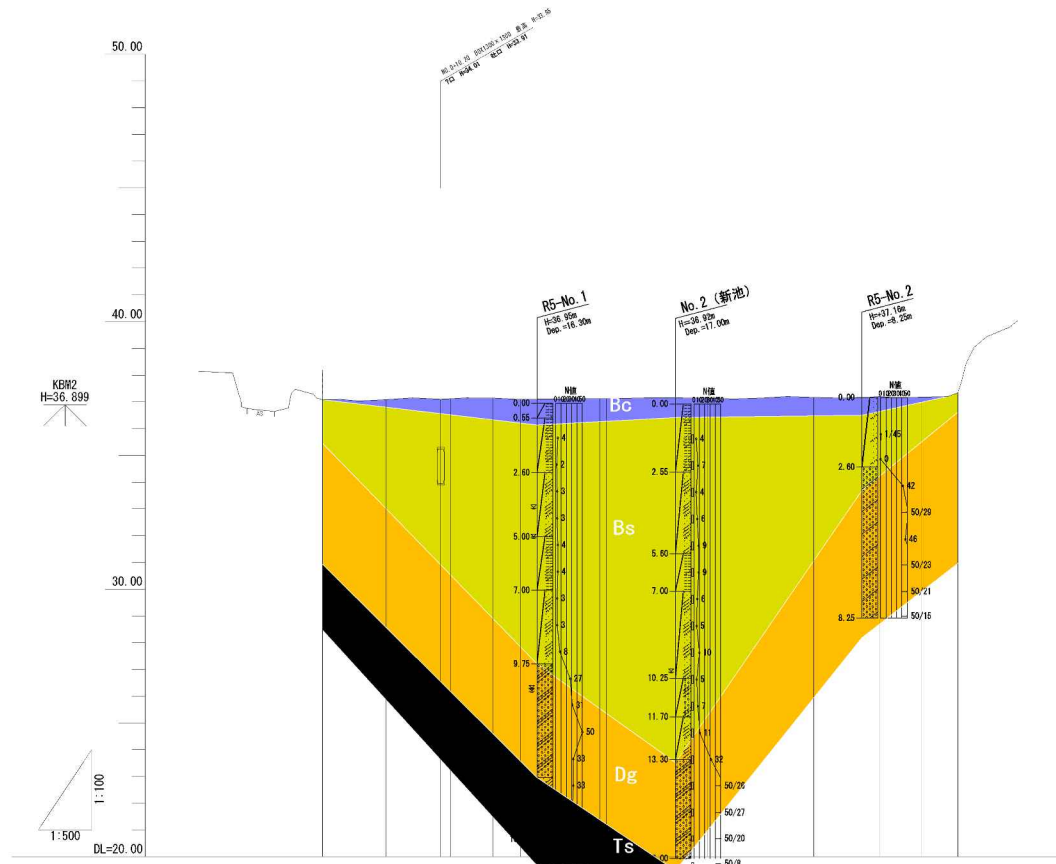
計画平面図



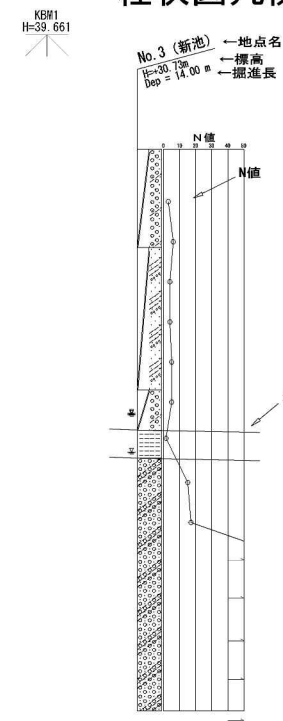
令和5年度 土地改良施設耐震対策事業
知多13期地区 新池調査測量設計業務

図面の名称		図面番号
新池 平面図		D-1
縮尺 1:250		
測 量	令和5年9月1日終了	
設 計		
製 原 図		
図 複 写		
事務所名	愛知県知多農林水産事務所	
会 社 名	株式会社 三祐コンサルタンツ	

V=1:100 H=1:500



柱状图凡例



地質層序凡例

時 代		地 層 名	記 号	土 質
		堤体盛土	Bo	粘性土主体
			Bs	砂質土主体
新生代	第四紀	冲積粘性土層	Ac	粘性土主体
		洪積礫質土層	Dg	礫質土主体
	第三紀	豊丘累層		砂質土主体

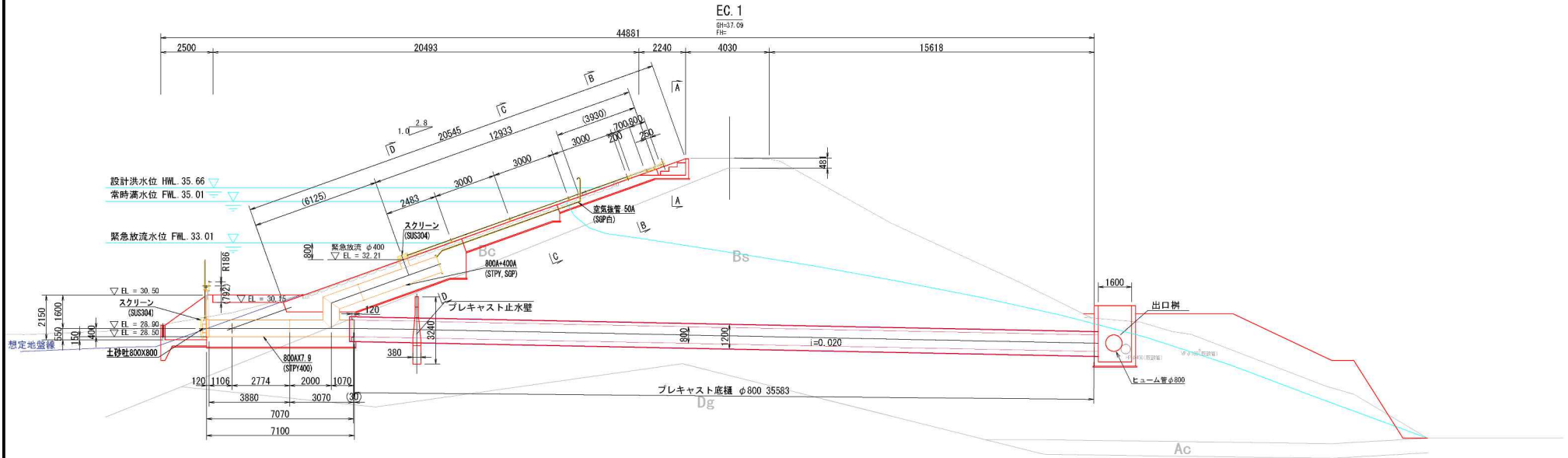
[illegible]

※点線は推定線である

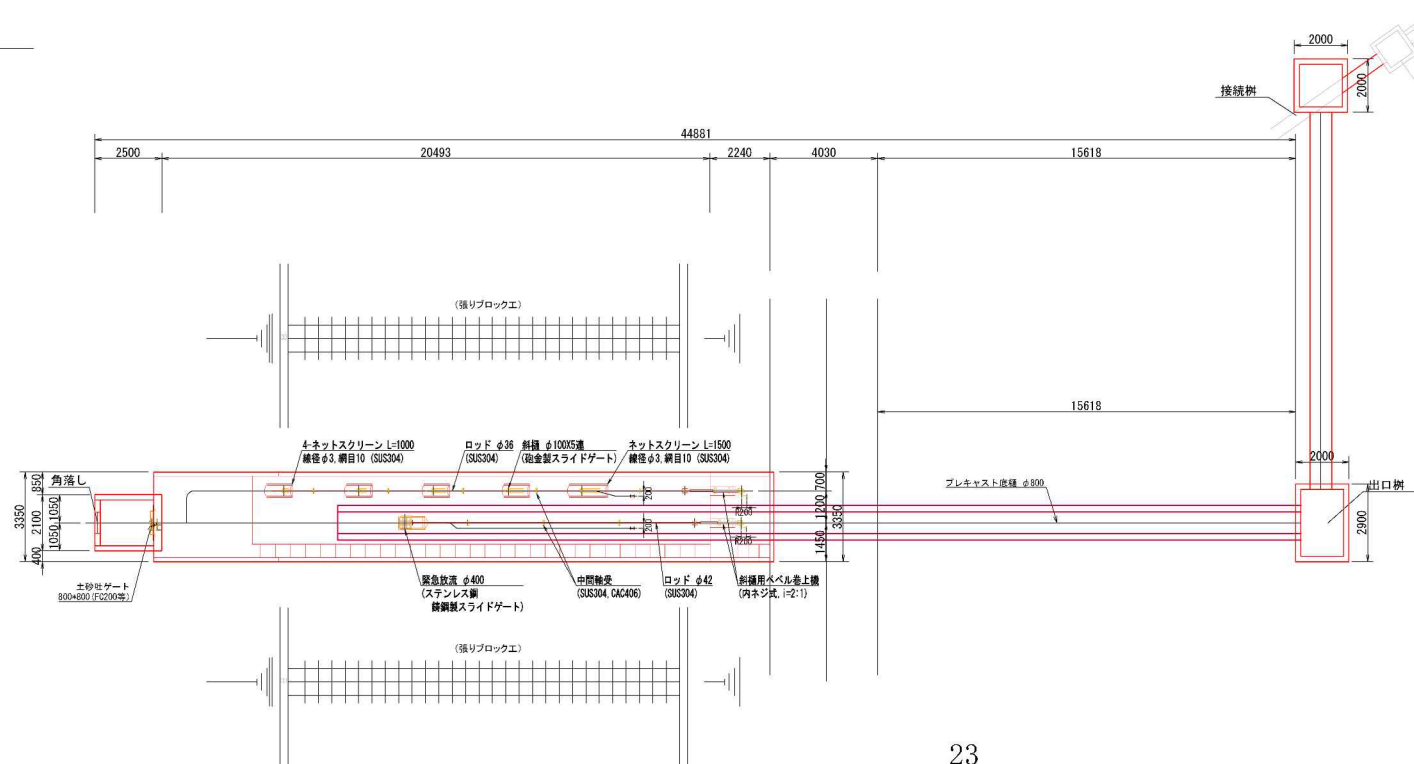
工 事 名	令和6年度 土地改良施設設置対策事業 知多14期地区 豊丘新池計画策定業務		
図 面 名	豊丘新池 縦断面		
作成年月日			
縮 尺	V=1/200 H=1/500	図面番号	2-3
会 社 名	株式会社三祐コンサルタンツ		
事業所名	愛知県知多農林水産事務所		

緊急放流施設φ400 構造図

S=1:100

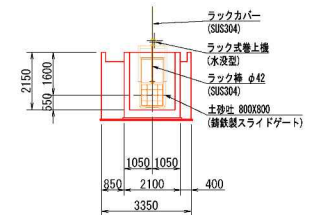


DL=20.00



土砂吐 正面図

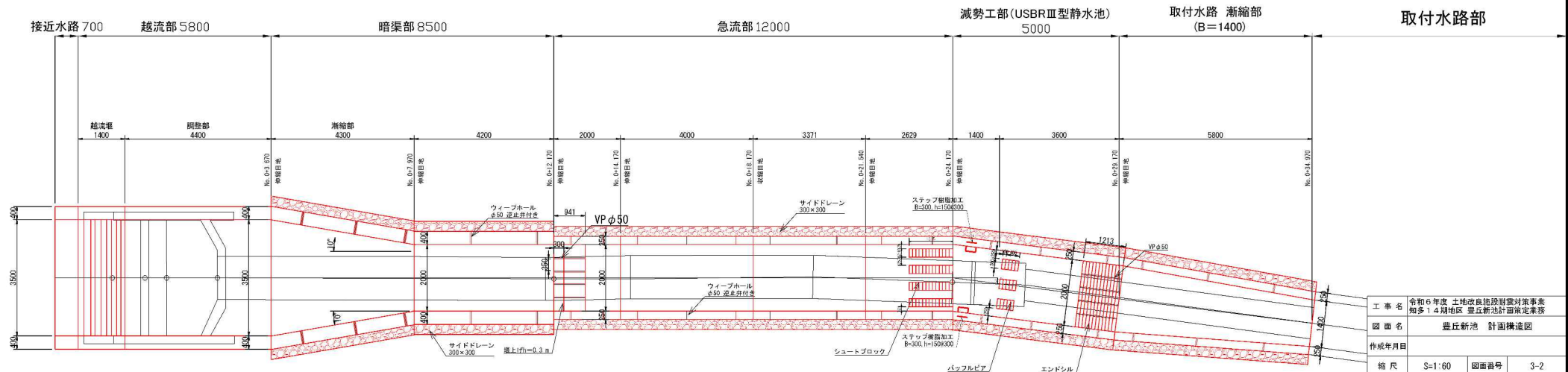
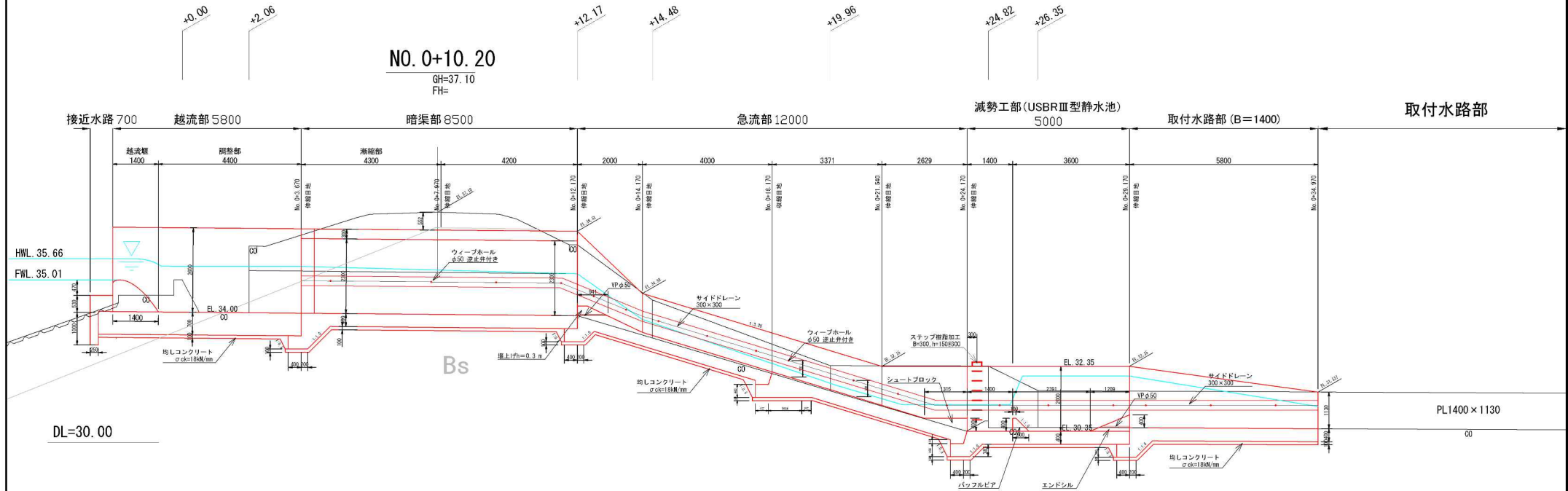
S=1:100



工事名	令和6年度 土地改良施設対策事業 知多14地区 豊丘新池 緊急放流施設φ400構造図		
図面名	豊丘新池 緊急放流施設φ400構造図		
作成年月日			
縮尺	S=1:100	図面番号	4-2
会社名	株式会社三祐コンサルタンツ		
事業所名	愛知県知多農林水産事務所		

洪水吐 構造図

S=1:60



工事名	令和6年度 土地改良施設耐震対策事業		
図面名	豊丘新池 計画構造図		
作成年月日			
縮尺	S=1:60	図面番号	3-2
会社名	株式会社三祐コンサルタンツ		
事業所名	愛知県知多農林水産事務所		